

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2022 年 10-12 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

### 〔調査結果の概要〕

今期の調査は 364 社から回答があった。景況判断 DI は▲16(前期調査から 1 ポイント悪化)となった。来期の見通しは▲20 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、「従業員の不足」、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が高かった。

「その他」の記述回答では、4 期続けて燃料費の高騰を懸念する声が多く寄せられた。

以下、その他業況感 DI の内訳

2022 年 7-9 月期に対して、

- ・売上高 DI は 8 で、15 ポイント改善
- ・処理量 DI は 0 で、12 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲6 で、2 ポイント改善
- ・資金繰り DI は▲1 で、前期と変わらず
- ・借入難易度 DI は 10 で、1 ポイント改善
- ・設備投資 DI は 1 で、1 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は▲5 で、1 ポイント改善
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 7 で、4 ポイント改善  
処分が 5 で、2 ポイント悪化

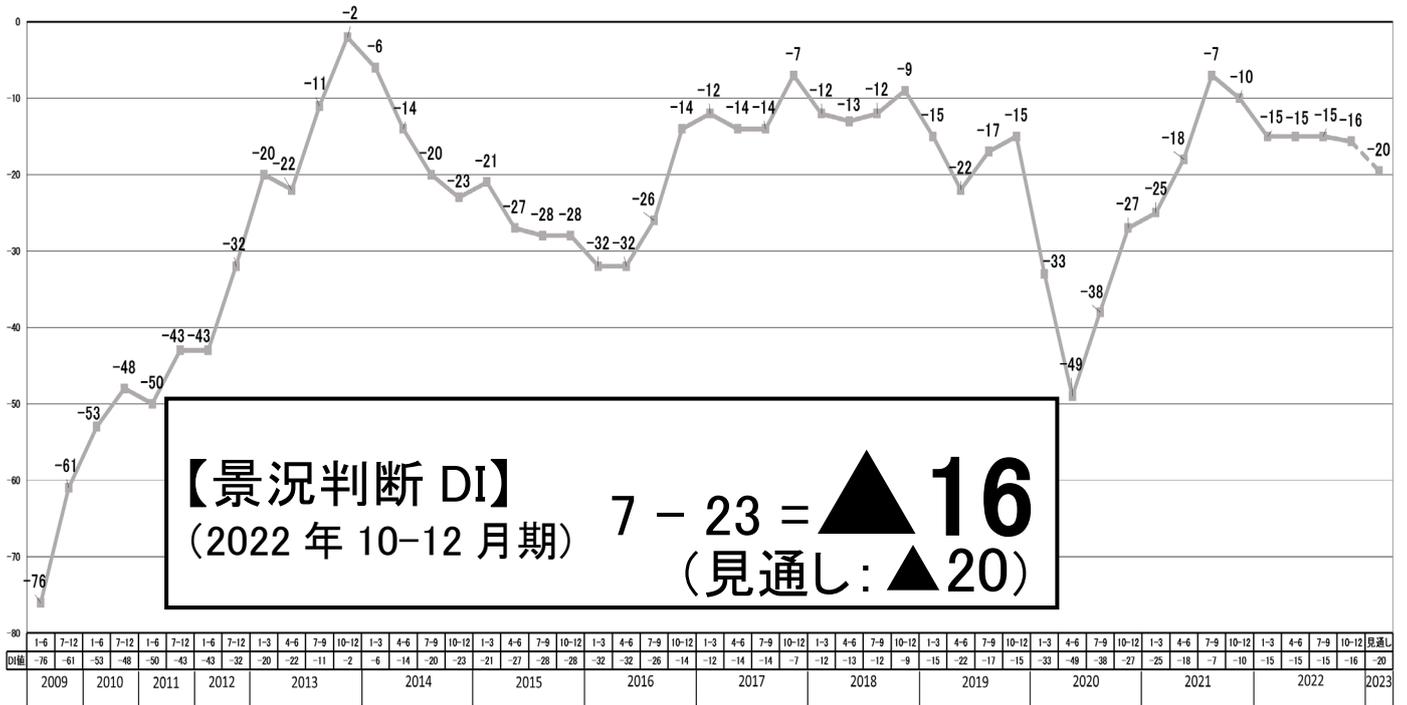
- 売上高の動向については、前年同期比で 0.5%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で 2.9%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で 1.9%増となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

### 〔調査の要領〕

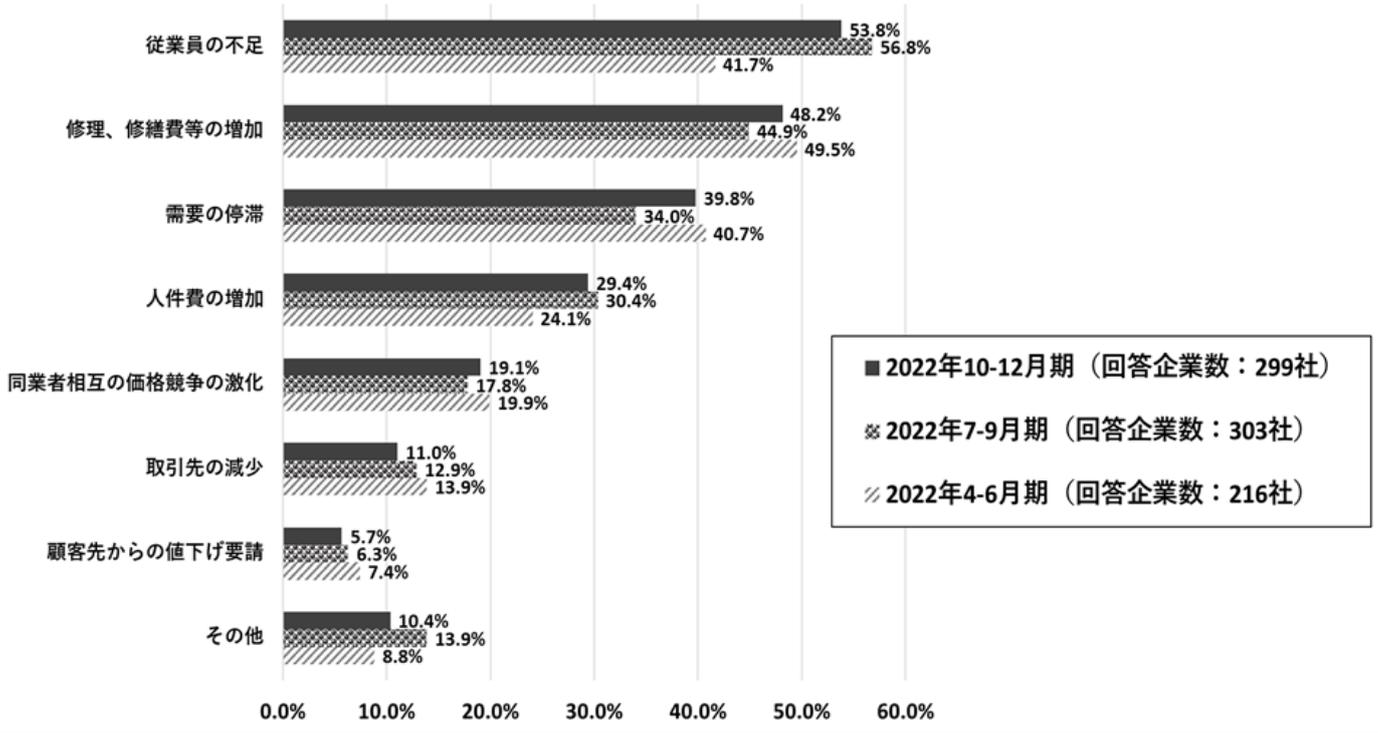
- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:Web によるアンケート
- 調査期間:令和 5 年 1 月 10 日～1 月 31 日
- 回答企業数:364 社

### 景況判断DI(2009年1-6月期~2022年7-9月期と見通し)



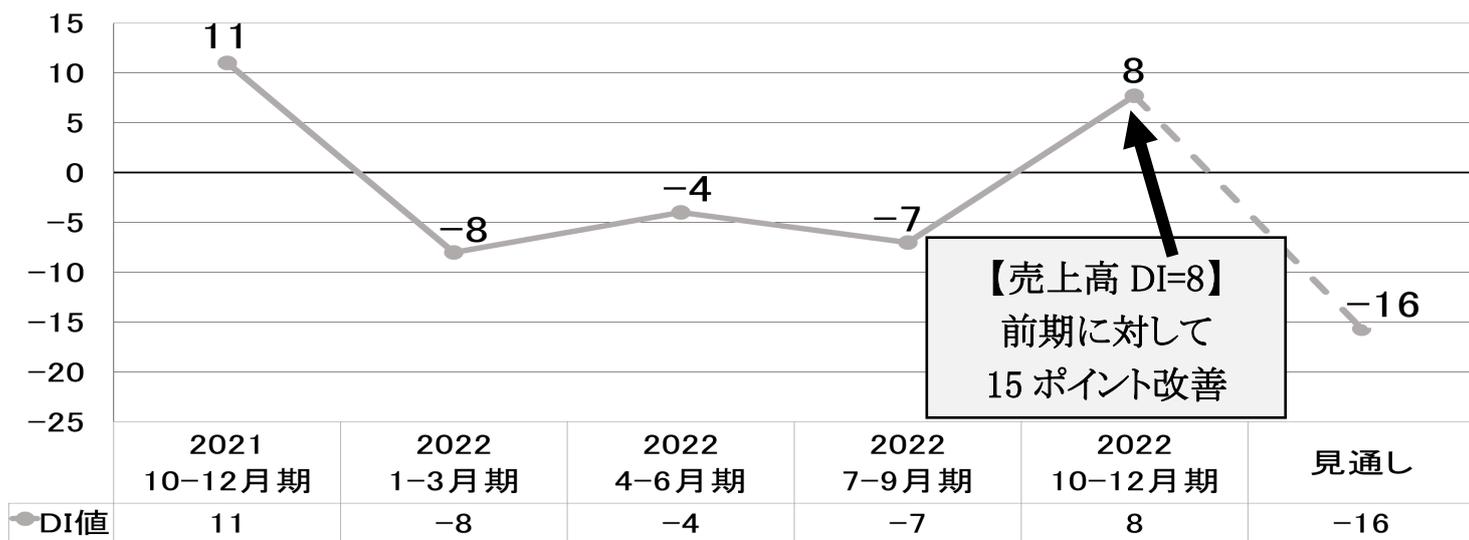
### 経営上の問題点(複数回答可)

<2022年10-12月期 (回答企業数: 299社) >



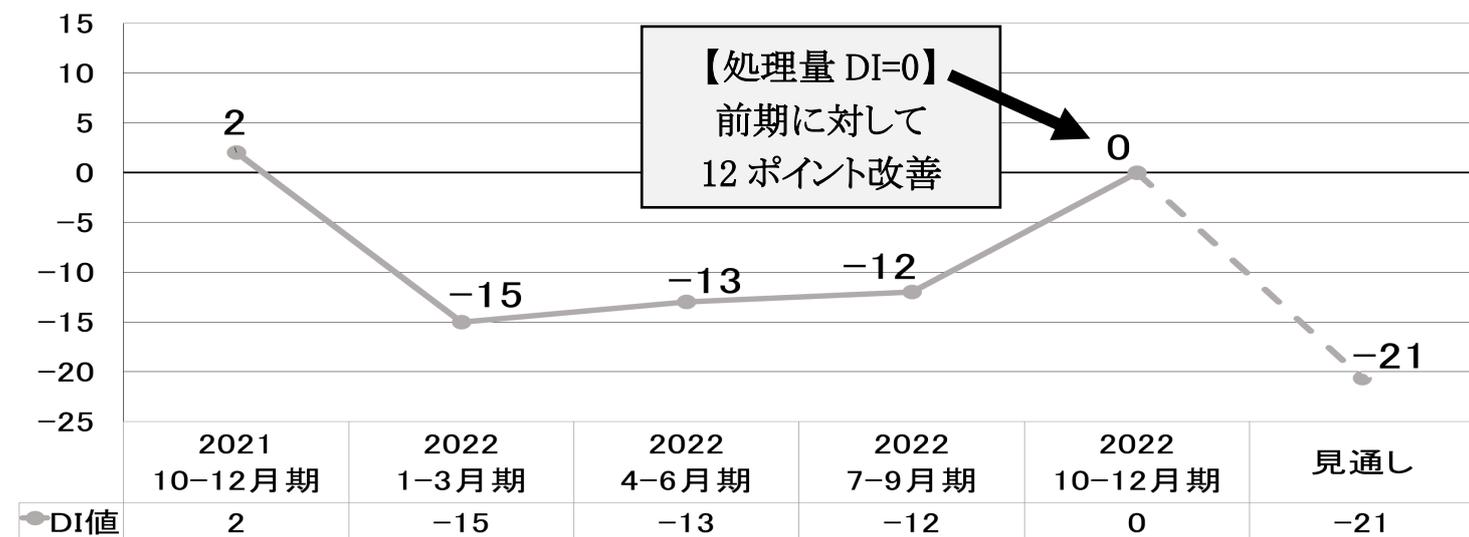
### 売上高DI

(2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



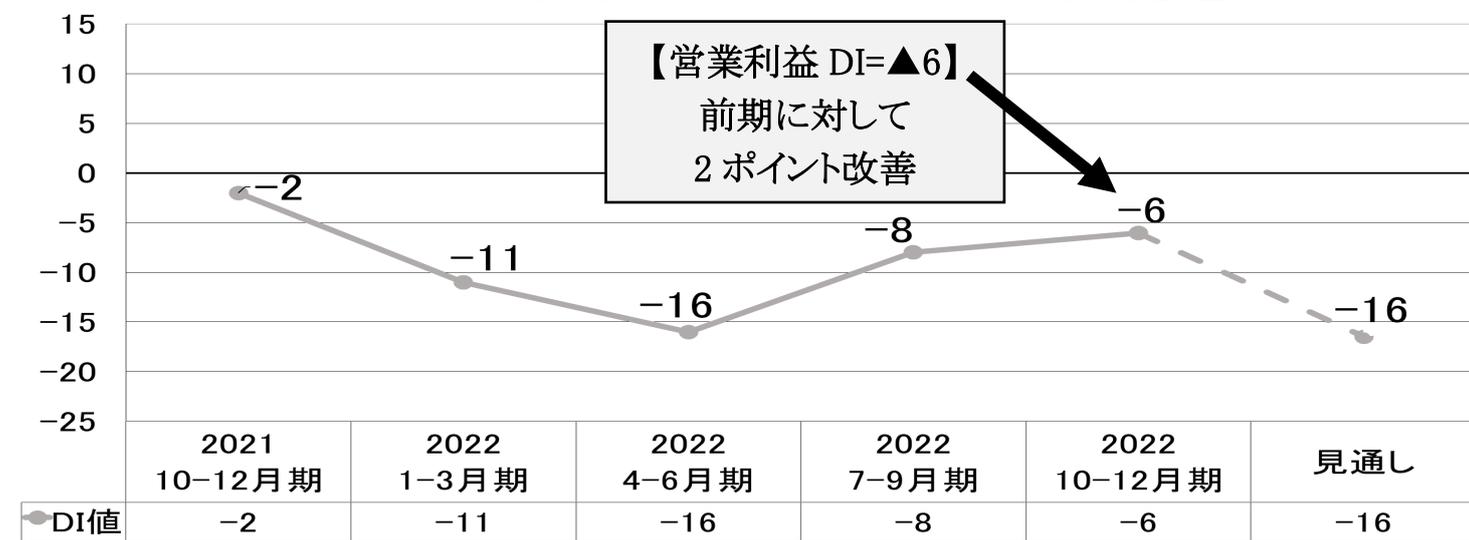
### 処理量DI

(2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



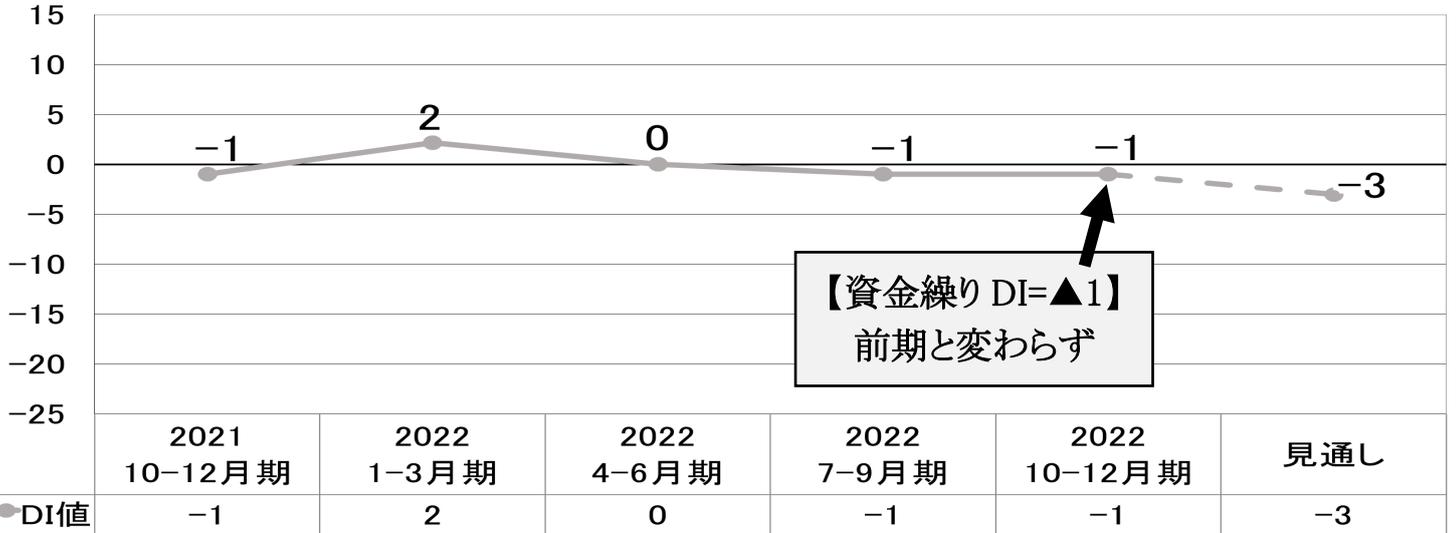
### 営業利益DI

(2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



### 資金繰りDI

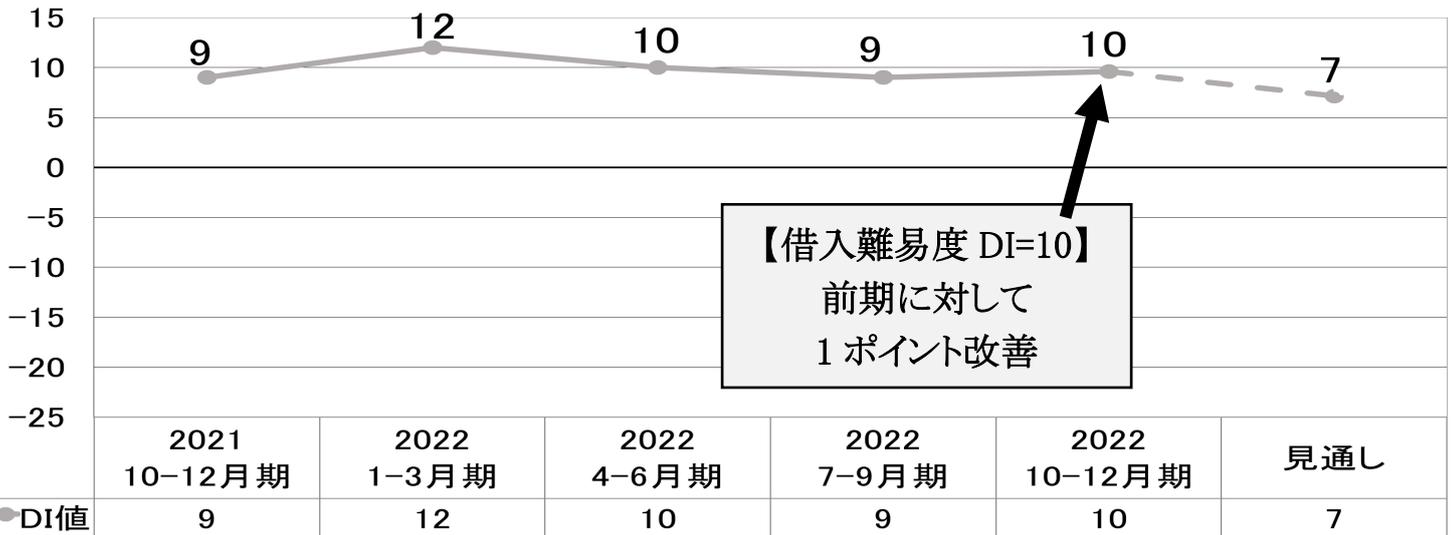
(2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



【資金繰りDI=▲1】  
前期と変わらず

### 借入難易度DI

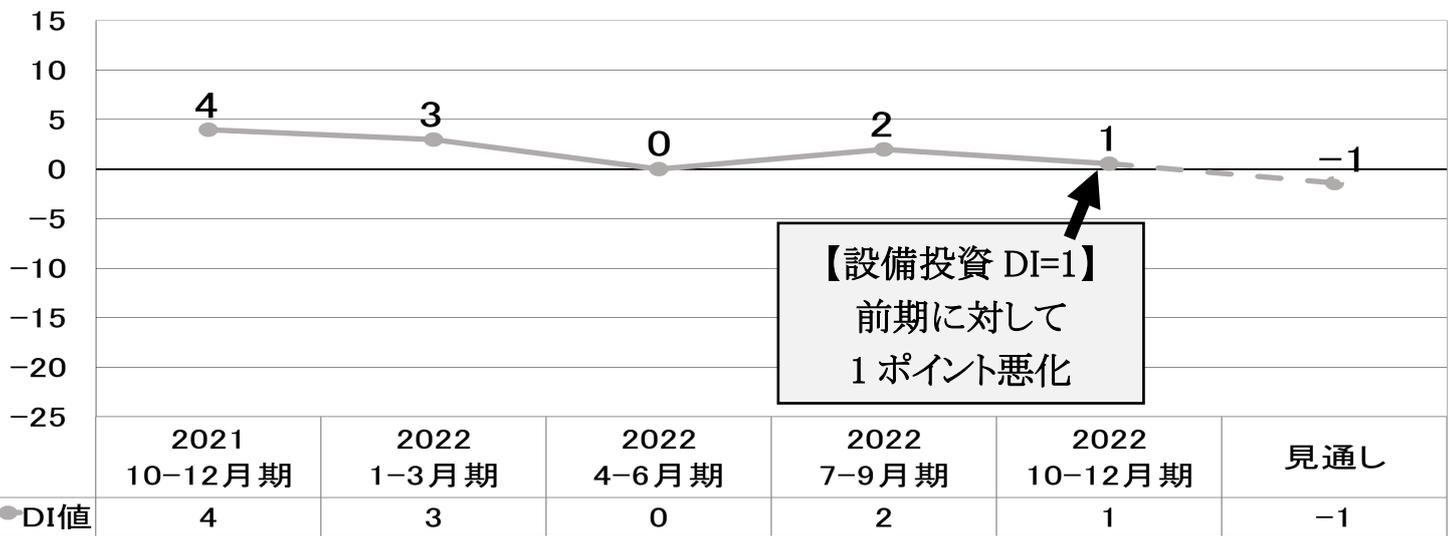
(2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



【借入難易度DI=10】  
前期に対して  
1ポイント改善

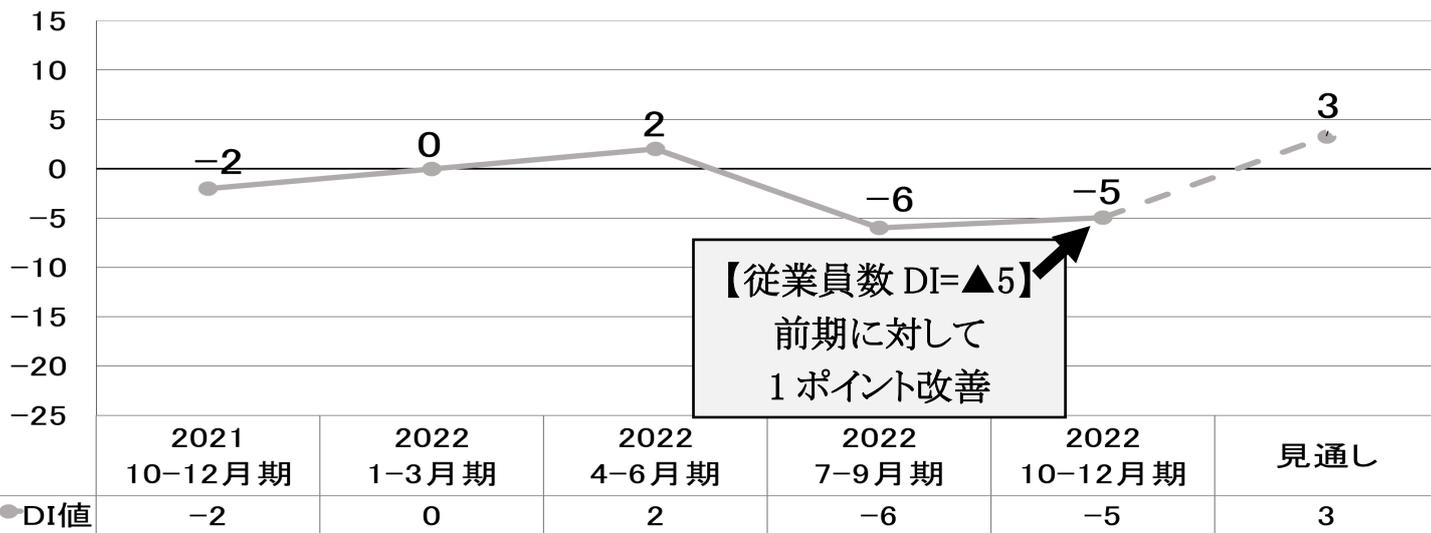
### 設備投資DI

(2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



【設備投資DI=1】  
前期に対して  
1ポイント悪化

## 従業員数DI (2021年10-12月期～2022年10-12月期と見通し)



【従業員数 DI=▲5】  
前期に対して  
1ポイント改善

【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

